

立憲民主党 さっぽろNEWS

発行：立憲民主党札幌支部 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目8番地 TEL:011-241-7117

2024 8/16

No.010

8・6ダイ・イン集会

核兵器廃絶を 79年前の悲惨な光景を再現

広島への原爆投下から79年目を迎えた8月6日、原水禁札幌地区協議会(たけのうち有美議長)は、大通西3丁目広場で核兵器廃絶を訴える「ダイ・イン集会」を開催した。市民ら約100人が参加し、広島に原爆が投下された午前8時15分から1分間、芝生に横たわり、抗議の意思を示す「ダイ・イン」を行い、79年前の悲惨な光景を再現した。



核廃絶を訴えた立憲民主党の議員ら

主催者のあいさつで、たけのうち議長は、ロシアのプーチン大統領による核兵器使用の威嚇、さらにはイスラエル政府の閣僚が原爆投下を容認する発言をするなど、「核兵器使用のリスクが高まっている」と懸念を表明。「被爆国の日本が核廃絶のために果たすべき役割を自覚し、核保有国に対し核兵器の削減と開発中止を訴えるべき」と述べた上で、「生命や環境を脅かし続ける『核』は必要がないこと、将来世代に『負の遺産』を残してはいけないことをこの場で確認したい」と呼びかけた。

札幌市議会民主市民連合の林清治会長も決意表明を行い、核兵器がまだまだ大量に存在している現状を指摘。「若者たちを二度と戦場に送らないと決意し、平和

を守る活動を続けていきたい」とあいさつした。

集会では「恒久平和を願う全ての人たちと手を携え、非核平和社会の創造に向けて共に奮闘することを誓う」などとしたアピールを採択。その後、1人ずつ献花し、犠牲者を追悼するとともに、広島への原爆投下時刻に合わせ1分間、ダイ・インを行った。

集会は今年で38回目。道下大樹衆院議員(道1区)、田中勝一道議(中央区)、小野正美市議(手稲区)、ふじわら広昭市議(東区)、しのだ江里子市議(東区)、村上ゆうこ市議(中央区)、松原淳二市議(厚別区)、定森光市議(西区)も参加し、平和への決意を新たにした。



連合(05)の日街宣

安定した暮らしを守る 最低賃金のさらなる引き上げを

連合北海道札幌地区連合会(吉田賢一会長)と立憲民主党札幌支部(菅原和忠代表)による「連合(05)の日街宣」が8月5日、札幌駅前通(南1西3)で行われ、連合の組合員とともに、西区選出の武田浩光道議と中村たけし市議、定森光市議が参加した。

北海道最低賃金(最賃)は現在の960円から50円引き上げ、1,010円になる見通し。街宣では、引き上げ幅を評価する一方、「暮らしの安定を図るにはまだ不十分。中小・零細企業への支援策を行いながら、さらな

る引き上げを目指す」と強調した。

また6日の「原爆の日」を前にして、「世界には、いまだ数多くの核兵器が存在し、人類は核の脅威にさらされ続けている」として、核廃絶と恒久平和の実現に向けた取り組みを進めていくと訴えた。



「暮らしの安定を図るため、最低賃金のさらなる引き上げを」と訴える(左から)中村市議、武田道議、定森市議

阿蘇くまもと空港

建物の安全性を確保

水上 美華 市議 北区



阿蘇くまもと空港の運営は2020年4月1日より、熊本国際空港株式会社へと移管され、コンセッション（運営権売却）方式を採用、民営化されています。

熊本地震の際、ターミナルビルに大きな被害があったため、再建が進められ、国内・国際線が一体となった新しいターミナルビルとして23年3月に開業しました。

建物は、熊本県産スギを使い、屋根部分は2×4工法のトラスで施工し、震度7強に耐えられるように設計。三角形を単位として組まれた構造形式で、三角形が釣り合うことで各部材にかかる荷重が分散され、構造の安定性を高め、軽くて丈夫という特徴があります。

また定時運行率の向上に向け、保安検査場を早めに通過してもらおうと、搭乗者（保安検査場通過後のエリア）のみ利用できるお店を多数設置しており、これにより保安検査待ちの長い行列ができることもないそうです。

一方、見送りにきた人と搭乗する人が一緒に食事を



阿蘇くまもと空港を視察する市議たち

する場所を増やしてほしいとの声も多く寄せられており、現在、保安検査前の場所を活用し飲食店の整備が進められています。

国際便の23便中、12便が台北線。その多くが熊本県内で進む半導体関連企業の集積を背景としたもので、半導体関連の輸送需要へ対応するための方策は現在、県と協議中とのことです。

地方空港の中で、全国一の利用者数を誇る阿蘇くまもと空港ですが、その建物の安全性と、利用者の動線を考え抜いた設計は素晴らしく、「利用したい」と思わせる空港です。

熊本大学工学部

半導体人材の育成

森 基誉則 市議 厚別区



熊本大学の半導体人材育成と産学官連携について話を伺いました。

同大学は、半導体に関連し、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング（SCK）のCTOを務めた半導体イメージセンサーの世界的第一人者、鈴木裕巳氏を招聘し、2018年に共同研究講座を設立。22年には半導体研究教育センターを設置し、最新型二次イオン質量分析装置を国内大学で唯一保持しています。これら豊富な人材や施設をベースに、全国の半導体企業6社と半



半導体製造過程をクリーンルームで見学する市議たち

導体材料、デバイスの分析・解析を行っています。

また、最先端の基盤研究からシステム応用までを網羅する半導体の研究開発、企業との共同研究、社会的ニーズに対応した人材育成を進めるとともに、産学官共同研究や国内外の研究機関・企業との連携に取り組む体制を構築しています。

今年度は全国で初めて半導体に特化した、半導体デバイスの設計・製造プロセス・評価技術・実装などを基礎とした工学部「半導体デバイス工学課程」と、データサイエンスや情報工学などを基礎とした「情報融合学環・DS半導体コース」の計60人の2コースを設立しました。

半導体人材が不足しているのであれば、大学でそれらを教えれば良いという単純な話ではなく、指導できる人材、多額の研究教育費、そして民間半導体企業や国、自治体からの協力体制等、準備すべきことは枚挙にいとまがありません。

ラピダスの半導体生産が軌道に乗った際に、人材確保できる体制を札幌市内に整えることができるのか、大学などを中心とした体制やカリキュラムの構築に本市としても協力できる部分はしっかりと手を携えたいところです。